

いまの憲法「よい」52%

本社世論調査 13年以降で最少に

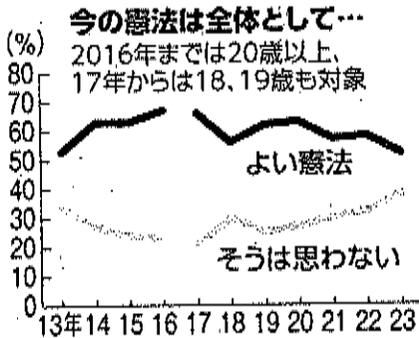
朝日新聞社の全国世論調査(郵送)で、いまの日本の憲法は全体として「よい憲法だ」と思うかを聞いたところ、「よい憲法」は52%(昨年調査58%)となり、2013年に郵送調査を始めて以降、最少となった。「そうは思わない」は38%(同32%)で最多だった。

▼1面参照

17年以降、調査対象が変わったため単純な比較はできないが、「よい憲法」は13年の53%がこれまで最少だった。14年から4年連続で6割を超え、18年に56%になった後、19、20年と6割を超えた。21年は57%、22年は58%だった。

今回「よい憲法」と回答した人を年代別でみると、最多は70歳以上の59%で、最少は30代と40代の44%。高齢層ほど高い傾向となった。

いまの憲法を変える必



要があるかを尋ねると、

「変える必要がある」52%(同56%)となり、2013年以降、3番目の高さとなった。「変える必要はない」は37%(同37%)だった。

今回「変える必要がある」と回答した人を男女別で見ると男性58%、女性47%と差があった。支持政党別で見ると、維新支持層が6割台半ば、自民支持層は6割弱、国民民主支持層は5割台半ば、公明支持層は4割台半ば。改憲に前向きな姿勢を示す「改憲4党」だが温度差がみられた。

立憲民主支持層は4割強、無党派層は5割だった。

国会での憲法改正の議論を急ぐ必要があると思うかも聞いたところ「急ぐ必要がある」は36%だった。20年は22%、22年は40%。「急ぐ必要はない」は55%だった。

「改憲4党」が衆院憲法審査会で改憲すべきだと一致しているテーマである、大災害などの緊急事態時における国会議員の任期延長についても尋ねたところ、「憲法を改正して対応するべきだ」53%(同54%)が、「その必要はない」39%(同39%)を上回った。

しかし、国会でもっと議論してほしい憲法関連テーマについて7つの選択肢を示して聞くと、「緊急事態時の国会議員の任期延長」は18%で、選択肢の中で2番目に低かった。

(寺本大蔵)